

(9) - 1 新技術説明会・新技術フォーラム等の開催実績

No. 1	H14年度	名称： R S P技術フォーラムin群馬	予算額	812千円
目的： R S P（研究成果育成型）事業の紹介、講演、成果発表を行なうことにより産学官の連携を深め新事業、新産業創出を促進する。				
開催時期： 平成14年 9月13日（金）13:00～17:00				
開催場所： 高崎サンパレス				
参加者： 176名（産/101名、学/14名、官/61名）				

No. 2	H15年度	名称： 科学技術フォーラムin群馬2003	予算額	96千円
目的： 「群馬県のR S Pがめざすもの」の説明、基調講演、R S P研究成果発表により産学官の連携を深め地域産業振興に寄与する。				
開催時期： 平成15年 9月17日（水）13:00～18:00				
開催場所： 群馬産業技術センター				
参加者： 157名（産/98名、学/21名、官/38名）				

No. 3	H15年度	名称： 新技術フォーラムin群馬2004 ～「ものづくり立県ぐんま」の新産業をめざして～	予算額	583千円
目的： 国内トップレベルの研究機関の先進技術を群馬地域企業に紹介し、地域研究開発活動の活性化を働きかける。				
開催時期： 平成16年 3月 1日（月）13:30～17:00				
開催場所： ウェルシティ前橋				
参加者： 122名（産/86名、学/4名、官/32名）				

No. 4	H16年度	名称： バイオベンチャーフォーラム	予算額	140千円
目的： 第8回医療・バイオ領域分科会				
開催時期： 平成16年 9月28日（火）13:30～17:00				
開催場所： 群馬産業技術センター				
参加者： 78名（産/49名、学/8名、官/21名）				

No. 5	H16年度	名称： 新技術フォーラムin群馬2005 ～勝てる「ものづくり」はここから！～	予算額	39千円
目的： 国内トップレベルの研究機関である産業技術総合研究所の加工技術に関する研究事例の紹介。及び企業が抱える課題や地域に共通する技術的な課題をどう克服していくかを、産業技術総合研究所のアドバイスを得ながら参加企業と討論した。				
開催時期： 平成17年 1月28日（金）13:30～17:00				
開催場所： 群馬産業技術センター				
参加者： 63名（産/39名、官/24名）				

No. 6	H16年度	名称： アグリバイオフィォーラム	予算額	259千円
目的： 第9回医療・バイオ領域分科会				
開催時期： 平成17年 2月23日（水）13:30～17:00				
開催場所： 高崎サンパレス				
参加者： 47名（産/17名、学/14名、官/16名）				

No. 7	H17年度	名称： 科学技術フォーラムin群馬2005	予算額	433千円
目的： RSP（研究成果育成型）事業の紹介、講演、成果発表を行なうことにより産学官の連携を深め新事業、新産業創出を促進する。				
開催時期： 平成17年 6月15日（水）13:00～18:00				
開催場所： 群馬産業技術センター				
参加者： 139名（産/61名、学/28名、官/50名）				

No. 8	H17年度	名称： 産学官連携フォーラム ～成功する商品開発（R&D）マネージメント～	予算額	61千円
目的： 産業活性化と新産業創出を目指すための中小企業経営者や産学関係者へ商品開発のあり方、技術開発への具体的な動きの活性化。				
開催時期： 平成17年10月14日（金）13:30～17:00				
開催場所： ウェルシティ前橋				
参加者： 79名（産/49名、学/1名、官/29名）				

No. 9	H17年度	名称： 最終成果報告会	予算額	865千円
目的： RSP事業の最終成果報告				
開催時期： 平成18年 2月15日（水）13:00～18:00				
開催場所： ウェルシティ前橋				
参加者： 148名（産/64名、学/41名、官/43名）				

■ 産学官フェア（群馬県主催）

*講演／事例発表と展示を併設した「出入り自由」なイベントであるため、参加者実数をカウントしていない。
5.（11）成果一覧表の集計から除外している。

No. 1	H14年度	名称： 産学官フェアin群馬	予算額	2,032千円
目的： 産学官連携推進のため、北関東地域の関連機関の参加により、情報交換及び交流の機会とする。 ・産学連携による研究成果について企業、大学の双方からの事例発表 ・基調講演 ・大学等研究機関と公的支援機関のパネル展示と相談窓口開設				
開催時期： 平成15年 2月21日（金）13:00～19:00				
開催場所： 群馬県民会館（前橋市日吉町）				
参加者：				

No. 2	H15年度	名称： 産学官フェアin群馬	予算額	千円
目的： 産学官連携推進のため、北関東地域の関連機関の参加により、情報交換及び交流の機会とする。 ・産学連携による研究成果について企業、大学の双方からの事例発表 ・基調講演 ・大学等研究機関と公的支援機関のパネル展示と相談窓口開設				
開催時期： 平成16年 1月28日（金）13:00～19:00				
開催場所： 群馬県民会館（前橋市日吉町）				
参加者： 約300名				

No. 3	H16年度	名称： 産学官フェアin群馬	予算額	千円
目的： 産学官連携推進のため、北関東地域の関連機関の参加により、情報交換及び交流の機会とする。 ・基調講演 ・パネルディスカッション「群馬県の産学官連携について」 ・産学官連携成果発表 ・シーズ・製品展示 ・技術相談コーナー ・交流会				
開催時期： 平成16年12月 1日（水）13:00～19:00				
開催場所： 群馬産業技術センター（前橋市亀里町）				
参加者： 約300名				

(9)ー2 新技術説明会・新技術フォーラム等の開催実績(領域分科会の開催実績)

産学官による講演と討論及び情報交換を行い重点分野毎にニーズ・シーズのマッチングを図る活動。
技術領域分野を特定し、意見交換しやすい人数に参加者を絞った形態による「新技術説明会」相当の活動。

①情報・通信領域分科会

第1回

開催日	平成13年12月19日
会場	群馬県公社総合ビル
内容	活動目標の確認と進め方の討議
参加者	産/5社、学/6名

第2回

開催日	平成14年1月16日
会場	高崎アーバンホテル・ナポリ
内容	・「最近のカラー印刷技術と市場動向」 (株) 沖データ 技師長 伊藤克之 ・「Tm ⁽⁺³⁾ : YAGの蛍光を用いた光ファイバ水分濃度センサ」 群馬大学工学部 助手 横田正幸
参加者	産/6社、学/3名

第3回

開催日	平成14年2月28日
会場	高崎アーバンホテル・ナポリ
内容	・「新世紀の電気通信管理網」 前橋工科大学 教授 松下正彦 ・「統合生産管理システム」 杉原エス・イー・アイ (株) システム開発部長 小池国夫
参加者	産/5社、学/3名

第4回

開催日	平成14年6月18日
会場	高崎アーバンホテル・ナポリ
内容	・「超音波医療応用技術の展開と群馬大学電気電子工学科の情報通信関連研究の概要」 群馬大学工学部 教授 山越芳樹 ・「血圧測定技術の変遷とコア技術とインターネットによる医療データの収集」 日本精密測器 (株) 取締役 腰野眞司
参加者	産/8社、学/3名

第5回

開催日	平成14年7月25日
会場	沖電気工業 (株) 高崎工場
内容	・「プリンターにおける光書き込み系の開発技術」 沖データイメージング 技術部長 手島実 ・「プリンターにおけるカラー処理とその開発技術」 沖データシステムズ マネージャ 佐藤晋
参加者	24名 (産/8社、学/3名、官/6名)

第6回

開催日	平成14年11月5日
会場	沖電気工業(株)高崎工場
内容	ソフト部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「群馬大学における情報系研究開発」 群馬大学工学部 助教授 白石洋一 ・「C言語を用いたLSI設計」 沖情報システムズ 設計部長 門田晴信
参加者	産/6社、学/2名

第7回

開催日	平成15年5月9日
会場	鹿島エレクトロ産業(株)
内容	通信専門部会 <ul style="list-style-type: none"> ・「無線LANを用いた移動型高速インターネット動画利用装置の開発」 前橋工科大学 教授 堀越淳、講師 松本浩樹 ・「数理設計研究所の技術展開」 (株)数理設計研究所 代表取締役 玉置晴朗 ・「ハードウェア/ソフトウェア協調設計環境、及び設計手法に関する研究」 群馬大学工学部 助教授 白石洋一
参加者	16名(産/7社、学/3名、官/5名)

第8回

開催日	平成15年11月26日
会場	群馬産業技術センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「知的情報処理の研究」 前橋工科大学 教授 原川哲美 ・「食品分析センサーの研究」 東洋大学 教授 大熊廣一 ・「群馬産業技術センターの技術支援と研究」 群馬産業技術センター 石黒聡
参加者	25名(産/10社、学/6名、官8名)

第9回

開催日	平成16年11月24日
会場	群馬産業技術センター
内容	講演：携帯電話・インターネット利用技術について <ul style="list-style-type: none"> ・「健康情報診断ネット」 高崎健康福祉大学 教授 竹内裕之 ・「体表点字装置」 群馬工業高等専門学校 教授 佐々木信之 ・「ITカプセルオフィス」 (株)コンタクト 代表取締役 小峯登 ・「群馬における病診連携」 NPO地域診療情報連絡会 理事長 瀧澤清美 新参加者の会社、研究の紹介
参加者	29名(産/12社、学/8名、官/9名)

第10回

開催日	平成17年 3月31日
会場	沖電気工業 (株) 高崎工場
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「群馬組み込みシステム設計開発技術センター設立構想」 群馬大学工学部 助教授 白石洋一 ・「製造業の環境変化と技術者の育成」 高崎健康福祉大学短期大学部 教授 嶋村譲 ・「産官学連携とその進め方」 (株) アドテックス 代表取締役 佐藤弘男 ・「企業連携とその課題」 (株) プリモテック 代表取締役 澤田稔 企業紹介とディスカッション ～各社の製品開発と技術者の育成について～
参加者	24名 (産/12社、学/2名、官8名)

第11回

開催日	平成17年12月 5日
会場	群馬産業技術センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「企業の求める技術と (株) リアライズの役割」 (株) リアライズ 最高技術責任者 白石洋一 ・「企業の問題解決とITの役割」 (有) パルビット研究所 代表取締役 嶋村譲 ・「技術屋の冒険」 (株) 数理設計研究所 代表取締役 玉置晴朗 企業紹介とディスカッション ～参加企業の自己紹介、会社 (製品) 紹介～
参加者	38名 (産/17社、学/2名、官/15名)

②新素材領域分科会

第1回

開催日	平成14年 2月21日
会場	マーキュリーホテル
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「高活性カルシウム微粒子の合成とその応用」 群馬大学工学部 教授 宝田恭之
参加者	産/7社、学/8名

第2回

開催日	平成14年 5月 9日
会場	高崎アーバンホテル・ナポリ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「フラーレン系ナノ材料の研究開発」 群馬大学工学部 教授 西村淳 ・「フッ素分子を使った関東電化の石井冬彦技術と製品」 関東電化工業 (株) 所長 石井冬彦
参加者	20名 (産/6社、学8名、官/7名)

第3回

開催日	平成14年 7月24日
会場	高崎アーバンホテル・ナポリ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「生体組織と新素材とにかかわる最近の研究紹介」 群馬工業高等専門学校 教授 小島昭 ・「日本カーリットの最近の製品展開（導電性材料など）」 日本カーリット（株） 研究開発センター 副所長 進藤修光
参加者	22名（産5社、学/8名、官/9名）

第4回

開催日	平成14年11月28日
会場	前橋市民文化会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「有機色素薄膜の光化学」 群馬大学工学部 教授 平塚浩士 ・「研究開発の進め方」 太陽誘電（株） 総合研究所 所長 望月明彦
参加者	18名（産/4社、学/6名、官/8名）

第5回

開催日	平成15年 1月28日
会場	マーキュリーホテル
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「導電性高分子素材の研究開発」 原研高崎研究所 研究室長 吉田勝 ・「東邦亜鉛の電解鉄事業」 東邦亜鉛（株） 副所長 沼崎孝則
参加者	産/6社、学/5名

第6回

開催日	平成15年 5月 1日
会場	前橋テルサ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「ナノ集積薄膜技術による光触媒新水性ミラーの開発」 群馬産業技術センター 主任研究員 宮下喜好 ・「群栄化学工業の事業の今後の展開」 群栄化学工業（株） 営業本部主幹 宮下雄次 ・「機能化フラーレンの開発研究」 群馬大学大学院 助手 中村洋介
参加者	26名（産/6社、学/5名、官/14名）

第7回

開催日	平成15年 8月21日
会場	前橋テルサ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「電気化学工業と工業用接着剤ハードロックについて」 電気化学工業（株） 工場次長 木村晴男 ・「光を吸収した分子が辿る世界：基礎的研究から光機能性分子への展開」 群馬大学工学部 教授 飛田成史 ・「群馬県の産業政策について」 群馬県商工労働部産業政策課 延命敏勝
参加者	23名（産/5社、学/6名、官/12名）

第8回

開催日	平成15年11月6日
会場	前橋テルサ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「放射線を用いた新機能材料」 原研高崎研究所 材料開発部長 南波秀樹 ・「ディスク製造者としての課題」 (株) 梁瀬産業社 YPM 推進室長 阿部幸弘 ・「信越化学工業の技術展開」 信越化学工業 (株) 所長室長 青木寿
参加者	15名 (産/5社、学/4名、官/6名)

第9回

開催日	平成16年1月29日
会場	ウェルシティ前橋
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「藤岡事業所における材料事業の展開」 東邦亜鉛 (株) 東邦テクニカルセンター センター長 相原宏美 ・「商品の“秘伝のたれば”材料と生産技術」 群馬大学地域共同研究センター 教授 須齋嵩 ・「群馬県工業振興政策について」 群馬県産業経済局工業振興課 次長 高橋厚
参加者	26名 (産/6社、学/6名、官/13名)

第10回

開催日	平成16年9月1日
会場	群馬県庁
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「色素増感型太陽電池およびその製造方法」 群馬大学工学部 教授 花屋実 ・「燃料電池の研究開発」 群馬大学工学部 助教授 中川紳好 ・「群馬のものづくり支援」 群馬県産業経済局工業振興課 課長 石田哲博
参加者	26名 (産/7社、学/8名、官/11名)

第11回 次世代エネルギーフォーラム (第11回新素材/第10回環境・生活文化合同分科会)

開催日	平成17年8月3日
会場	群馬産業技術センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「低質資源を用いたクリーンエネルギー (水素ガス) 生産及び機能性新素材生産システム」 群馬大学工学部 教授 (工学部長) 宝田恭之 ・「畜産廃棄物の新処理方法」 (株) レック・アール・ディ 専務取締役 星野幹雄
参加者	92名 (産/39社、学/7名、官/40名)

*集計上はフォーラムにカウントする。

第12回

開催日	平成17年11月25日
会場	群馬産業技術センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「炭素材料の新展開～炭素材料の構造制御による燃料電池電極触媒への展開～」 群馬大学大学院 助教授 尾崎純一 ・「極限環境材料ー半導体関連～宇宙用および原子力用半導体の開発～」 日本原子力研究開発機構 環境・産業応用研究開発ユニット 伊藤久義
参加者	30名 (産/8社、学/5名、官/13名)

③医療・バイオ領域分科会

第1回

開催日	平成14年 6月13日
会場	前橋市民文化会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「東洋大学生命科学部における植物バイオの研究」 東洋大学 教授 下村講一郎 ・「細胞の増殖と接着の制御機構に関する研究」 群馬大学生体調節研究所 教授 的崎尚
参加者	産6社、学/15名、官/3名

第2回

開催日	平成14年 9月 5日
会場	前橋市民文化会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「群馬県の医療福祉環境産業振興策について」 群馬県商工労働部工業振興課 係長代理 高原啓成 ・「肉の素（もと）としてのミオシン」 群馬大学医学部 教授 小濱一弘 ・「サッポロビール植物工学研究所の研究開発について」 サッポロビール（株）植物工学研究所 所長 伊藤一敏
参加者	37名（産/7社、学/12名、官/15名）

第3回

開催日	平成14年12月24日
会場	マーキュリーホテル
内容	<p>医療部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「皮膚の3次元培養」 群馬大学医学部 教授 石川治 ・「キリンビール（株）の医薬事業と医薬研究開発戦略」 キリンビール（株）医療探索研究所 山岸祐司 ・「免疫生物研究所のバイオ関連研究開発」 （株）免疫生物研究所 代表取締役 清藤勉
参加者	30名（産/6社、学/9名、官/15名）

第4回

開催日	平成15年 1月30日
会場	マーキュリーホテル
内容	<p>植物バイオ部会</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「きのご類細胞工学と機能性素材としての適用」 高崎健康福祉大学 助教授 江口文陽 ・「原研高崎研究所のバイオ関連研究開発について」 原研高崎研究所 イオンビーム生物応用研究部長 棚瀬正和 ・「群馬県園芸試験場のバイオ研究開発について」 群馬県園芸試験場 担当課長 池田洋 ・「カネコ種苗のバイオ関連研究開発」 カネコ種苗（株）波志江研究所 取締役所長 西平隆彦
参加者	25名（産/6社、学/10名、官/9名）

第5回

開催日	平成15年 6月18日
会場	前橋テルサ
内容	<p>総合部会</p> <p>「ぐんま星雲クラスターの紹介」 群馬県商工労働部産業政策課 産業戦略グループ係長 延命敏勝</p> <p>・「遺伝子組み換え技術に関連する規制動向」 筑波大学 教授 鎌田博</p> <p>・「血清中セレン蛋白セレノプロテインPの疾病予防機構の解明」 群馬大学医学部 教授 小山洋</p> <p>・「CO₂インキュベーターにおけるコンタミネーション対策について」 三洋電機(株) 産業機器カンパニー 経営企画担当部長 清水隆幸</p>
参加者	35名(産/7社、学/16名、官/12名)

第6回

開催日	平成15年10月28日
会場	群馬県公社総合ビル
内容	<p>・「老化神経細胞の機能再生」 群馬大学医学部 教授 白尾智明</p> <p>・「群馬県衛生環境研究所の研究概要」 群馬県衛生環境研究所 所長 小澤邦壽</p> <p>・「日本化薬における微生物研究について」 日本化薬(株) 発酵グループリーダー 吉岡秀樹</p>
参加者	29名(産/7社、学/8名、官/12社)

第7回

開催日	平成16年 2月20日
会場	マーキュリーホテル
内容	<p>・「骨格筋に関する研究」 群馬大学医学部 教授 依藤宏</p> <p>・「群馬産業技術センターのバイオ関連研究概要」 群馬産業技術センター 独立研究員 仁科淳良</p> <p>・「牛受精卵の生産と利用」 群馬県畜産試験場 生物学グループリーダー 砂川政弘</p> <p>・「(株)シバヤギの概要」 (株)シバヤギ 代表取締役 蜂須達之</p>
参加者	29名(産/7社、学/7名、官/12名)

第8回 (バイオベンチャーフォーラム)

開催日	平成16年 9月28日
会場	群馬産業技術センター
内容	<p>今回は領域分科会を初めて一般公開し、バイオベンチャーフォーラムとして開催した。ベンチャーに対する投資である「ぐんまチャレンジファンド」についてその概要と選定基準について解説とベンチャー企業からの発表を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「群馬チャレンジファンドの概要と投資の選定基準」 UFJつばさハンズオンキャピタル(株) 常務取締役 嶋津玲仁 ・「大学発ベンチャー マッシュ・テック(株)の概要」 高崎健康福祉大学 教授 江口文陽 ・「ペプタイト・ドアの概要」 (株) ペプタイト・ドア 代表取締役 鈴木政嗣 ・「日本アプリコット(株)の概要」 日本アプリコット(株) 代表取締役副社長 水田敏信 ・「無農薬で有機栽培ができる野菜栽培システムプラントの概要」 (株) アグリオザワバイオニクス 代表取締役社長 小澤正幸 ・「沼田地域における酵素畜産堆肥事業化検討」 Community Business Research 代表 新井正彦
参加者	78名(産/41社、学/8名、官21名)

第9回 (アグリバイオ・フォーラム)

開催日	平成17年 2月23日
会場	高崎サンパレス
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「藻類の研究と産業への利用」 東京海洋大学 教授 能登谷正浩 ・「バイオテクノロジーを活用したアジサイ新品種の育成」 群馬県農業技術センター 独立研究員 工藤暢宏 ・「(財)日本きのこ研究所の概要 ～野生きのこライブラリーの構築と活用を中心として～」 (財)日本きのこ研究所 専務理事 古谷航平 ・「環境にやさしい農業を考える～有機JAS認証を通じて感じたこと～」 農之栖<small>ののり</small>(群馬県特別栽培農産物確認機関) 代表 麦島昌
参加者	47名(産/16社、学/14名、官/16名)

第10回 (医療バイオフォーラム)

開催日	平成17年 7月28日
会場	群馬県庁
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「医療バイオ分野の研究開発とNPO法人北関東バイオフォーラム」 NPO法人北関東バイオフォーラム 理事長 群馬大学大学院 教授 小濱一弘 ・「肝臓に高頻度に存在するユニークなT細胞：NK T細胞」 群馬大学医学部 教授 江本正志 ・「創業研究の視点と求められる課題の多様性」 早稲田大学大学院 教授 加藤尚志 ・「医療・バイオコンサルタント会社クータックの概要」 (有)クータック 代表 久保木克己
参加者	49名(産17社、学5名、官18名)

第11回 (H17年度医療バイオ領域・育成試験成果報告会)

開催日	平成18年 3月 7日
会場	群馬県公社総合ビル
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「抗アジアロGM1抗体による細胞分類と臨床診断」 群馬大学医学部 教授 江本正志 ・「野菜の環境保全型栽培と機能性物質に関する研究」 東洋大学 教授 下村講一郎 ・「栽培ハウスの最適空調方式の探索と実験的研究」 足利工業大学 客員研究員 安西敏浩 助教授 室恵子 講師 三田村輝章 ・「常緑性アジサイ園芸種の組織培養による大量増殖法の開発」 群馬県農業技術センター 独立研究員 飯塚正英 ・「群馬県産農林産物中の活性酸素消去物質の探索と実用化」 群馬産業技術センター 任期付研究員 福本亮平 副主任研究員 仁科淳良 ・「炭化材料含有生分解性プランターおよび育成培地の開発」 群馬工業高等専門学校 教授 小島昭 ・「カワノリ養殖生産技術の開発」 (東京海洋大学 教授 能登谷正浩) (有) 桑屋マニファクチャリング 代表 桑原一
参加者	41名 (産/13社、学/10名、官10名)

第12回 (栽培ハウスの省エネ研究会)

開催日	平成18年 3月16日
会場	J A前橋
内容	<ul style="list-style-type: none"> 「省エネの一般的取組み方法」 科学技術コーディネータ 大山健一 ・「実験用栽培ハウスにおける夏場の室内環境の実測とシミュレーション」 足利工業大学 客員研究員 安西敏浩
参加者	29名 (産/2社・バラ組合12名、学/2名、官/12名)

④新製造技術領域分科会

第1回

開催日	平成14年11月25日
会場	高崎サンパレス
内容	参加者自己紹介(ニーズ/シーズ)、活動の狙い、活動の進め方討議
参加者	29名 (産/11社、学/4名、官/12名)

第2回

開催日	平成15年 1月27日
会場	ウェルシティ前橋
内容	ブレン・ストリング：群馬の名産に着目した新商品・新事業
参加者	25名 (産/10社、学4名、官/11名)

第3回

開催日	平成15年 4月23日
会場	群馬県公社総合ビル
内容	ブレン・ストリング：新製造技術領域の活動目標 (加工技術の課題抽出に向けて)
メンバー	33名 (産/12社、学/6名、官/14名)

第4回

開催日	平成15年 8月25日
会場	サンデン (株) 八斗島事業所
内容	同事業所見学：会社・事業所の紹介、製品説明、生産ライン見学 意見交換：製造業の取り組み課題について（改善活動、海外展開、技術開発等）
参加者	23名（産/13社、学/2名、官/9名）

第5回

開催日	平成15年12月 8日
会場	群馬産業技術センター
内容	・星雲クラスター 群馬県マザーメカ促進連絡会 参加企業等募集について ・RSP中間報告について ・意見交換 「ものづくり」分野の課題について
参加者	15名（産/7社、学/3名、官/6名）

⑤環境・生活文化領域分科会

第1回

開催日	平成15年 2月 6日
会場	前橋市民文化会館
内容	メンバー自己紹介、及び同分科会の今後の方向性について討論
参加者	31名（産/10社、学/7名、官/14名）

第2回

開催日	平成15年 4月22日
会場	前橋テルサ
内容	・「環境事業の近未来展望」 ハルナビバレッジ (株) 代表取締役 青木清志 ・「エコテクノロジー」 群馬大学工学部 教授 黒田正和 ・「畜産環境対策技術開発に当たって求められるもの」 群馬県畜産試験場 環境課長 山田正幸
参加者	30名（産/7社、学/7名、官/16名）

第3回

開催日	平成15年 6月26日
会場	前橋テルサ
内容	・「(株) ヤマトの環境事業分野への取り組み」 (株) ヤマト 常務取締役 西村貞生 ・「電子ビームを用いた排煙排水処理技術」 原研高崎研究所 主任研究員 小嶋拓治 ・「群馬県に於ける環境資源循環型社会形成への課題について」 群馬県環境資源保全協会 会長 城田裕司
参加者	34名（産/10社、学/7名、官/16名）

第4回

開催日	平成15年 8月29日
会場	前橋テルサ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「フロン廃棄物の再資源化」 カースチール（株） 代表取締役 中嶋朗 ・「食べて治す：特定健康食品（健康食品）」 群馬大学工学部 助教授 榎本淳 ・「群馬県の環境政策について」 群馬県環境生活部環境政策課 課長 萩原進
参加者	31名（産/10社、学/3名、官/17名）

第5回

開催日	平成15年11月14日
会場	前橋テルサ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境への建設業の取組」 鹿島建設（株）群馬営業所 副所長 大脇光久 ・「北関東産官学研究会のコーディネータ活動について」 北関東産官学研究会 福本亮平 ・「環境分析は追い風か」 環境技研（株） 代表取締役 川口勝
参加者	26名（産/8社、学/5名、官/13名）

第6回

開催日	平成16年 1月20日
会場	ウェルシティ前橋
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「アライ・サンズの商品展開」 (有)アライ・サンズ 代表取締役社長 荒居良生 ・「使用済み自動車のリサイクル技術と廃棄物からのエネルギー回収について」 群馬大学工学部 助教授 天谷賢児 ・「県産小麦の利用ー地産・地消を目指して」 群馬県ものづくりアドバイザー 青木義篤
参加者	26名（産/9社、学/7名、官/10名）

第7回

開催日	平成16年 3月24日
会場	前橋テルサ
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「星野物産の食品事業展開」 星野物産（株） 取締役顧問 高瀬弘 ・「バイタルジャパン（株）の水浄化事業展開」 バイタルジャパン（株） 取締役営業技術部長 廣嶋恒夫 ・「畜産廃棄物の浄化処理法～アンモニア分解による水素ガスの創生～」 理化学研究所 理学博士 星野幹雄
参加者	23名（産/9社、学/3名、官/9名）

第8回

開催日	平成16年 8月 3日
会場	群馬県庁 県議会会館
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「中小醤油工場における技術的課題」 正田醤油（株） 発酵研究所長 細谷広志 ・「生分解性ネット製品」 （有）高橋製作所 代表取締役社長 高橋幸雄 ・「環境・食糧への放射線利用」 原研高崎研究所 イオンビーム生物応用研究部長 久米民和
参加者	26名（産/8社、学7名、官界11名）

第9回

開催日	平成17年 3月10日
会場	ウェルシティ前橋
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「食・農・環境を守り育てる地域ネットワーク構築を目指して」 早稲田大学大学院（早稲田本庄リサーチパーク） 教授 篠沢隆雄 ・「サッポロビールの酵母事業展開」 サッポロビール（株）群馬工場 食品製造部長 久保田政樹
参加者	29名（産/11社、学/4名、官界14名）

第10回 第11回新素材領域分科会と合同開催

→（新素材領域分科会に記載）

第11回

開催日	平成17年10月26日
会場	群馬産業技術センター
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・「環境を配慮した新工場構築～工場のクリーン化、品質・生産性向上～」 モダンプラスチック工業（株） 代表取締役社長 青樹道弘 ・健康食品の現状と課題～21世紀に発展する健康食品の現状と課題について～ 日本化薬フードテクノ（株） 研究所 ヘルスケア研究担当 前崎祐二
参加者	45名（産/18社、学/6名、官15名）